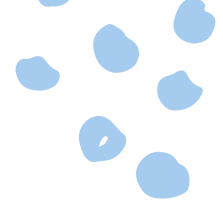


# Annual Report 2023



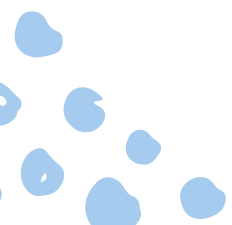
報告対象期間：  
2023年4月～2024年3月

2023年度 藤沢市市民活動支援施設 管理運営事業報告書  
(市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい)

まちづくりへの参加につながる場から



藤沢市市民活動支援施設 指定管理者  
認定特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構



# もくじ

- 藤沢市市民活動支援施設って、こんなところ！ ..... p.2
- こんな団体が登録しています！ ..... p.3
- 2023年度の活動の振り返り（総括） ..... p.4
- 各施設TOPICS ..... p.5
- 実施講座
  - 推進センター ..... p.6
  - プラザむつあい ..... p.7
- 交流イベント
  - 推進センター ..... p.8
  - プラザむつあい ..... p.9
- ネットワークの構築 ..... p.10
- アウトリーチ活動 ..... p.11
- サポートクラブ ..... p.12
- ワカモノ×NPO インターンシッププログラム ..... p.13
- 相談・コーディネート ..... p.14
- 情報の収集・発信
  - 発行物 ..... p.15
  - 持ち込み情報・HP ..... p.16
- 施設の利用状況 ..... p.17
- 次年度に向けて ..... p.18



# 藤沢市市民活動支援施設って、こんなところ！

「藤沢市市民活動推進センター（以下、推進センター）」「藤沢市市民活動プラザむつあい（以下、プラザむつあい）」は、公益的な市民活動の推進や、市民活動団体の自立化を応援することを目的に、藤沢市が設立した施設です。現在、特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構（以下、藤沢市民活動推進機構）が指定管理者として、管理運営を行っています。

推進センター



プラザむつあい



施設の利用には登録が必要です！

## 施設の管理・運営

打ち合わせや交流などのための場所の提供、印刷機や各種備品の貸出しをしています



## 相談・コーディネート

市民活動やボランティアを始めたい方、助成金を利用したい団体などの相談に対応しています



## 情報の収集・発信

助成金情報やイベント情報、ボランティア募集情報などを収集・発信しています



## 協働の推進

地域や企業、教育機関など、他セクターとの連携や協働の橋渡しをしています



## 人材育成

講座や交流会、サポートクラブなどを通じて、知識・スキルの向上を目指しています



そもそも市民活動って何？



市民が自主的かつ自発的に行う営利を目的としない活動のことです。個人の活動からグループでの活動まで、さまざまな形があります。

# こんな団体が登録しています！

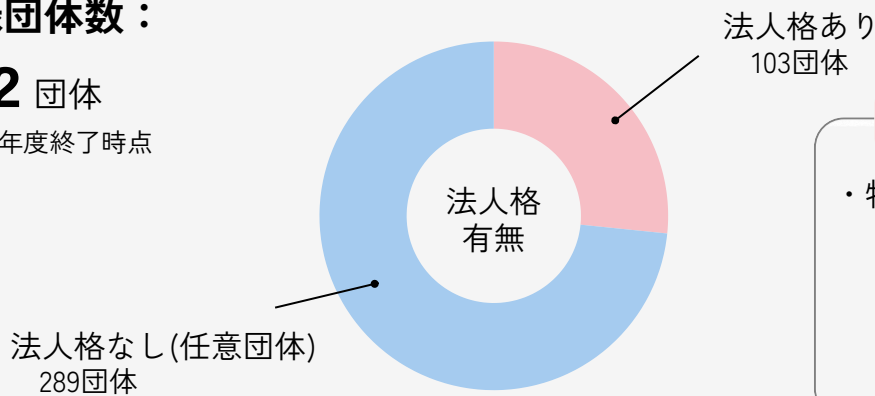
地域や社会に貢献する活動を行っている団体は数多く存在しています。例えば、藤沢市所管のNPO法人は市内に199団体（2023年度終了時点）あります。

また、藤沢市市民活動支援施設には、市内のNPO法人のうち83団体が登録しており、それ以外にも非営利の法人格を持つ団体や、法人格を持たない団体（任意団体）が、2023年度終了時点で計392団体登録しています。

## 登録団体数：

**392** 団体

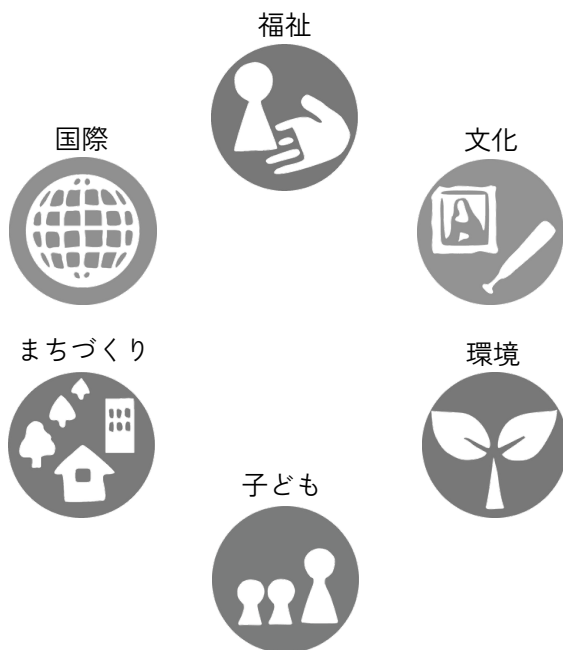
※2023年度終了時点



### 法人格の種類

- ・特定非営利活動法人
  - ・一般財団法人
  - ・一般社団法人
  - ・公益財団法人
  - ・公益社団法人

## 【活動分野例】



他にもさまざまな分野で活躍している団体が存在します。

施設のHPで、まずは自分の興味のある団体を探してみてくださいね！



<https://fujisawa-npo.jp/>

Q 団体登録をすると何ができる？



A 会議室や交流スペース、ロッカーなどの利用が可能です。印刷機などの各種機材も貸出ししています。また、公民館へのチラシ配架や、専門家相談などのサービスも受けることができます。

# 2023年度の活動の振り返り（総括）

## 年次目標：

### 「気づき 市民への発信をたかめ、気づきを促す」

2023年度、当施設の年度重点取り組み目標は、「気づき 市民への発信をたかめ、気づきを促す」としていました。目標設定の趣旨は、**団体の情報発信力を高め、関心を持つ市民へと広く施設や市民活動の情報を届ける事業を強化すること**です。2023年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行してからは、多くの団体にとって活動しやすい環境が戻ってきています。そうした環境のなかで団体がより存在感を持てるよう、発信力を強化する講座等の開催や、市民活動に関する情報発信を行ってまいりました。

#### 【団体の支援】

SNSやプレスリリース、広報関連ツールなどに関する講座や、市役所1階ラウンジ・湘南台駅地下通路での団体展示の実施

#### 【施設としての情報発信】

従来より運用している「X」（旧Twitter）の投稿拡充のほか、メディアプラットフォーム「note」上に施設アカウントを開設

2024年1月1日に発生した能登半島地震に際しては、寄付先などのご案内や街頭募金の方法などについてウェブサイトに掲載しました。被災地を支援することはもちろん、市内の個人・団体に向けては寄付や市民活動そのものの啓発も兼ねた情報発信を続けています。

2023年度は上記のとおり、年次目標に沿って、広報力の強化と広報機会の提供に努めました。また、社会の状況変化も見極めながら事業を進めてまいりました。



団体パネル展示 トークイベント  
(2023年10月7日/湘南台駅地下)



能登半島地震・募金活動  
(2024年1月27日・28日/藤沢駅前)

# 各施設TOPICS

## 推進センターより



推進センターでは、主要な広報講座を5月～7月に実施したほか、施設情報誌や広報ふじさわ、note、X（旧Twitter）など様々なチャンネルを駆使して、団体や施設の情報発信に努めてまいりました。本館・分館合わせて広報関連の講座の受講者はのべ145名、団体展示はのべ48団体にご参加いただきました。また、Xでは58,000以上のインプレッションがあり、Youtubeやnoteも駆使して発信機会を増やしています。

交流機会提供事業においては、学生や現役世代など市民活動に関わりがない人が多い層との接点づくりの機会や、団体がボランティア・イベント参加者を増やすことについて考えられる機会を設定しました。

実施した事業としては、学生の活動にスポットライトを当てたクリスマス交流会、地域と関わる生き方を考える交流会、高校でのNPO見本市、社会福祉協議会との協働で実施した場や機会づくりのイベントなどがあります。

今年度は対面での事業を積極的に行いました。まだまだ市民活動団体においてもコロナ禍の影響が大きいですが、徐々に活発になってきた活動を支えられるよう、今後も支援してまいります。

## プラザむつあいより



プラザむつあいは、市民活動やボランティアに触れる最初の一步として、気軽にご参加いただけるような企画を心がけました。生活に身近なバナナをテーマにしたものや、藤沢市民に身近な引地川をテーマにした交流会等を実施し、地域のことを考えるきっかけづくりを行いました。

また、各地区における課題解決や地域で活躍する人材育成の事業として、公民館等からの依頼により、地域のDX化支援や講師の紹介及び派遣、イベント支援等を行いました。このようなアウトリーチ活動は、支援施設の認知度を向上させる取り組みとしても位置付けています。

2023年度は、前身の湘南台市民活動プラザ開設から数えて10年目（2013年10月9日開設）を迎えました。これからも市民活動がより活躍できるまちづくりを目指し、推進センターとともに市民活動の支援をしていきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

# 実施講座（推進センター）



2023年度は、団体の基礎力強化を目的としたマネジメント講座と、ITに関する知識やスキルを学ぶIT講座を実施。また、インボイス制度がスタートしたことに伴い、インボイス講座も開催しました。今後も、世の中のトレンドや、団体のニーズを踏まえた講座を実施していく予定です！

## マネジメント講座

## IT講座

● 4月		
● 5月	プレスリリース	Word①
● 6月	X(旧Twitter)	Word②
● 7月	SNS実践	Excel① Excel②
● 8月	インボイス	
● 9月	資金調達	
● 10月	経理実務	Google
● 11月		
● 12月		PowerPoint① PowerPoint②
'24 ● 1月		
● 2月	Canva	ホームページ① ホームページ②
● 3月		



インボイス講座

さまざまな分野で活躍されている  
外部講師の方もお招きしました！ /



X(旧Twitter) 講座



Google講座

どこで講座の案内が見られるの？  
講座の受講対象は？



支援施設のHPや広報ふじさわなどで講座情報を発信しています。公益的な市民活動や地域活動に関わる講座も多いですが、ご興味のある方であれば、受講していただけます。

# 実施講座（プラザむつあい）



「プラザde学ぶ」というタイトルで、主に市民活動団体の組織基盤強化や団体スタッフのスキルアップのための学習機会を提供。2023年度は、広報力強化に向けた3回連続講座、資金調達方法や準備のための講座を実施しました。

## 3回連続講座 「広報したいこと」を考える

(2023年8月3日、19日、27日)

原稿の役割を整理しながら、デザイン作成ツール「Canva（キャンバ）」を使った紙面の作り方、動画の作り方を3回の連続講座で解説。「湘南台駅地下での市民活動紹介展示（9月22日～10月9日）」企画と連動で実施し、普段チャレンジする機会のない、大きなサイズのパネルを通した広報に挑戦してもらいました。

広報に携わっていて、  
なんとかして目にとまる  
方法が知りたいと思い  
参加しました！



NPOを運営していくために  
広報の仕方を勉強したい！

## 【講座連動企画：湘南台駅地下パネル展示】

(展示期間 2023年9月22日～10月9日、トークイベント 10月7日)

トークイベントでは、展示参加団体が活動を紹介。そのうち7団体が、動画や実演による紹介を行いました。また、掲示物に関して工夫したことなどについても話してもらっています。オープンスペースでの実施ということもあり、通りすがりの参加もあわせると、参加者は90名を超えました。



## 資金調達のための準備術

(2024年2月25日)

市民活動団体の資金調達力を高めること、また、そのことにより活躍する市民活動団体が  
増え、非営利セクターが活性化することなどを目指して実施しました。



### 【プログラム】

- ・ 資金調達の手段
- ・ 団体のビジョンやミッションの明文化
- ・ 藤沢市助成事業の説明
- ・ 助成金申請のための項目整理



# 交流イベント（推進センター）



## ワカモノ×地域 クリスマス交流会

（2023年12月3日）



2001年12月に施設が開館したことにちなみ、推進センターでは毎年12月に「クリスマス交流会」を開催しています（周年事業実施時を除く）。2023年度は、地域で活躍する学生が、基調講演やショートスピーチ（全5団体）を実施。若者の活躍ぶりに参加者も刺激を受けました！

### 【プログラム】

- ・藤沢市長あいさつ
- ・基調講演
- ・ショートスピーチ
- ・交流タイム



基調講演



ショートスピーチ

## トマトとピザと藤沢の話 ～地域で自分らしく生きていく～

（2024年3月6日）

藤沢産のトマトを育てているゲストをお招きし、ゲストと参加者が一緒に、地域で活動すること、自分らしく生きることについて考える交流会を実施。夜間の開催にもかかわらず多くの人で賑わいました！参加者からは、「これを機に積極的に地域貢献をしていきたい」という声もあがり、実際に援農ボランティア活動を始めるきっかけにも繋がりました。

### 【プログラム】

- ・ゲストトーク①
- ・ゲストトーク②
- ・交流タイム



ゲスト：佐藤 智哉氏  
(湘南佐藤農園(株)・『畑のキッチン』オーナーシェフ)



## 参加者やボランティアを増やすための 場づくり 人づくり 機会づくり

（2024年3月24日）

本イベントは、藤沢市社会福祉協議会との共同イベントとして実施し、3団体が事例発表を行いました。そこからの気づきを踏まえ、参加者・登壇者が一緒になって、地域の活動に人が集まる場づくりや機会づくりなどに関するグループワークを行いました。

### 【事例発表】

- ・NPOサポーターズ  
(地域の縁側えん)
- ・優タウン
- ・じゃおクラブ湘南



# 交流イベント（プラザむっあい）



市民活動参加のきっかけづくりとして、身近な話題をテーマに、気軽に参加できることを目指した交流イベント（プラザdeカフェ）を企画。シリーズ「身近なSDGs」では、各分野における市民活動団体の活動がSDGsに繋がっていることを知ってもらうことを目的に、2022年度から実施しています。

● 4月

● 5月

● 6月

- ・～身近なSDGs～ 地域の中を流れる引地川
- ・ゼロから始めるスマートフォン

● 7月

ゼロから始めるスマートフォン（追加開催）

● 8月

● 9月

● 10月

～身近なSDGs～ 気軽に楽しくこねこね  
せっけんの魅力再発見!!

● 11月

- ・～身近なSDGs～ 引地川でつながる私たち
- ・スマホで簡単！きれいな写真を撮ろう

● 12月

～身近なSDGs～ ハーブを楽しむ

'24

● 1月

～身近なSDGs～ 知ってる？未利用バナナ

● 2月

● 3月



地域の中を流れる引地川



せっけんの魅力再発見



ハーブを楽しむ



知ってる？未利用バナナ

## ＼参加者の声／



地域貢献について関心があり、活動の実態を少しでも知ることができたらと考えて参加しました！

知らないことを知る！分かる！って、いくつになってもうれしいことですね。



# ネットワークの構築

## NPO見本市事業

藤沢市民まつりや、高校での授業など、施設外で市民活動団体のPRをするとともに、出展団体同士が顔を合わせて交流できるイベントが「NPO見本市」です。2023年度は藤沢市民まつり秋葉台会場、神奈川県立藤沢総合高校の授業の一環としてのべ16団体のご協力で実施いたしました。

### 藤沢市民まつり秋葉台会場

(2023年9月24日)



出展団体の様子

藤沢市民まつり自体の開催が4年ぶりとなった2023年度は4団体が出展。藤沢駅前会場と比べて親子連れが多いのが秋葉台会場の特徴です。出展内容は野菜の販売や読書クイズ、マナー相談、フリーマーケットなど。

### 神奈川県立藤沢総合高校

(2024年3月19日)



体験ブースの様子

藤沢総合高校の体育館、校舎を利用して団体ブースを生徒さんたちに体験してもらいました。参加人数は1学年全員の278名！12団体のブースを回って、NPOについて体験を交えながら学んでいきました。

## 第9回 外国人の日本語スピーチ大会in湘南台 いろいろな国の人のお話を聞こうよ

(2024年3月16日/湘南台文化センター 市民シアター)

日本語支援を行う市民活動団体にて日ごろ日本語を学んでいる生徒が、自分たちの思いを地域の方々に語るスピーチ大会を実施。プラザむつあい移転前（湘南台市民活動プラザ）から、湘南台公民館と連携をして実施しています。



会場の様子



団体の活動紹介パネル展示

市内の外国籍に関わる方々や、支えている市民活動団体の活動を広く理解していただき、多文化共生社会を目指す機会としています。また、イベントの実施にとどまらず、企画会議ごとに団体の情報交換や活動相談をする場としても機能しています！

# アウトリーチ活動



市内の公民館・市民センター等のニーズに応じて、講座の実施や講師となる団体の派遣、依頼元施設のサポートなどを行っています。実施内容はIT関連、SDGs、人権講座などをはじめ、施設・登録団体によって多岐にわたる支援サービスを提供しています。

## 主なアウトリーチ支援先

- 4月 スマートフォン初心者講座①（六会）
- 5月 スマートフォン初心者講座②（六会）
- 6月
- 7月
- 8月 スマホ基礎講座（善行）
- 9月 キャッシュレス決済基礎講座（やすらぎ荘）  
スマホ講座（片瀬） ほか
- 10月
- 11月 アタッチメント理論講演会（六会）
- 12月 イルミネーション点灯式（六会）
- ’24 ● 1月
- 2月 共生社会講演会（片瀬） ほか
- 3月 季節の音楽会（六会）  
さくら祭り（やすらぎ荘） ほか



人権講座の様子（善行）



点灯式（六会）



スマホ講座（片瀬）



さくら祭り（やすらぎ荘）

## 【2023年度アウトリーチ支援先及びのべ実施回数】

- ・ 六会公民館 6件
- ・ 善行公民館 4件
- ・ 片瀬公民館 4件
- ・ いきいきシニアセンターやすらぎ荘（藤沢市社会福祉協議会） 2件

# サポートクラブ

## 支援施設でボランティアをしませんか？

藤沢市市民活動支援施設サポートクラブは、施設スタッフと一緒に市民活動を支えたい方や、いろいろな市民活動を直に見て知りたい方に、施設の事業などをお手伝いいただく制度です。サポーターの皆さんには、情報誌発送などの事務作業をはじめ、IT講座の実施、各種イベントの企画・運営など、それぞれのご希望やスキルに合わせたサポートをお願いしています！

### 登録の流れ

まずは施設までご連絡ください！

面接・ヒアリング

登録票と誓約書の提出

活動開始！

事前にスタッフによる簡単なヒアリングを実施。その際、ご自身の得意なことや挑戦してみたいこと、興味のあることなどについて、お話してください！一緒に活動内容や活動時間を決めていきましょう。

困ったことがあれば、いつでも施設のスタッフにご相談くださいね！



情報誌の封入作業



パネル展示のサポート



事務作業（PCのデータ入力）

現在申込み受付中の活動などはここからチェック！



<https://fujisawa-npo.jp/about/supporter>

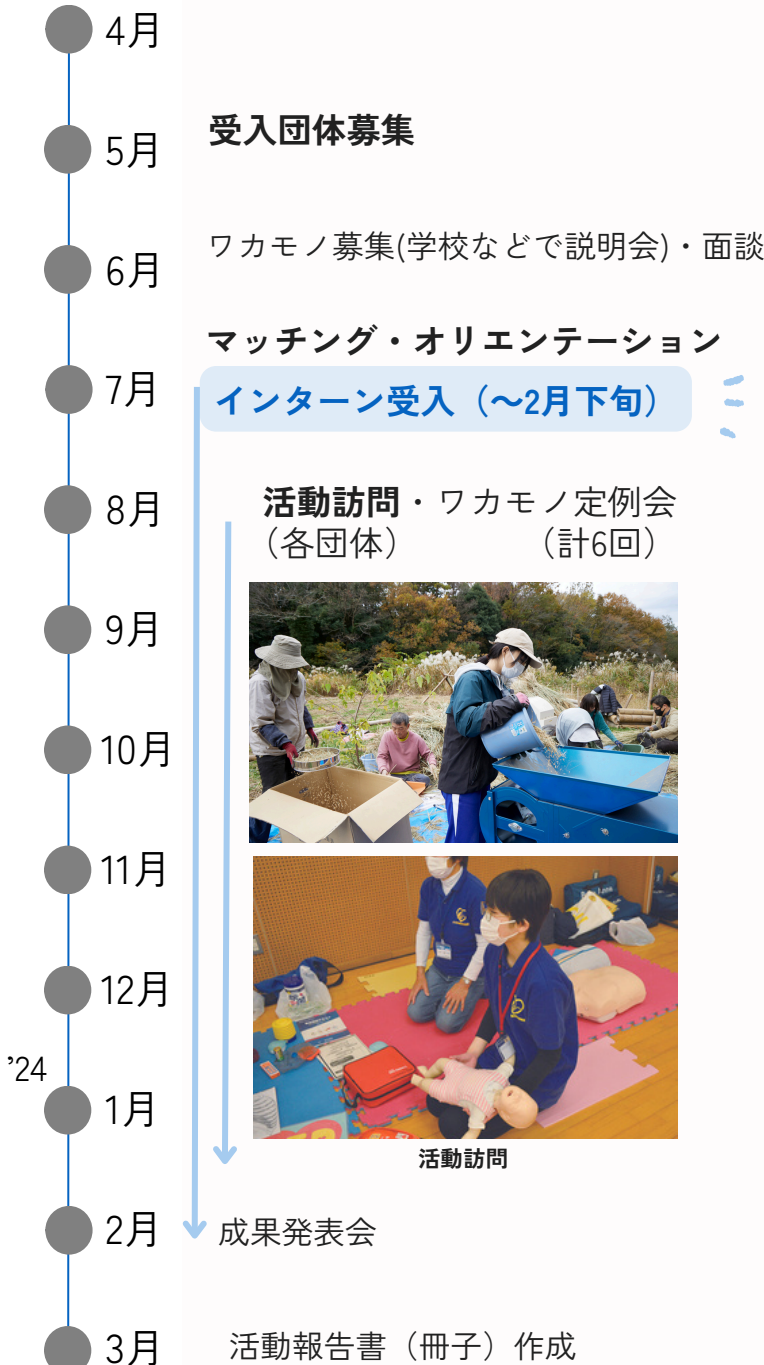
サポーター登録に特典はありますか？



施設実施講座受講料が無料になります（資料代が別途発生する場合は実費負担）。また、施設情報誌「F-wave」を毎月お送りしています。その他ボランティア情報もお送りしています。

# ワカモノ×NPO インターンシッププログラム

高校生～大学院生までのインターン生（ワカモノ）が市民活動団体でインターン活動を行うプログラムです。指定管理者の藤沢市民活動推進機構が実施する次世代人材の育成事業と並走する形で、施設として団体のマネジメント能力の向上等につながる事業を実施しています。具体的には、オリエンテーションなど団体とワカモノ及び団体同士の顔合わせの場を提供しています。また、団体への活動訪問を実施し、担当者の方より活動の様子やお悩み事等をヒアリングしています。その他、受入のための計画やワカモノとの接し方等、必要に応じて個別にサポートを行いました。



オリエンテーション



成果発表会



活動訪問



受入団体募集チラシ



活動報告書

※上記のうち太字部分は施設事業の関連内容、細字部分は指定管理者事業の関連内容となります。

受入団体はワカモノから刺激を受けることで、活動の活性化に繋がります。広報物の作成や新しい企画の創出をワカモノが担うなど、団体への寄与度も高い事業となっています。2023年度は成果発表会で顔を合わせた団体同士で、新しい事業の実施が決まった例もありました。

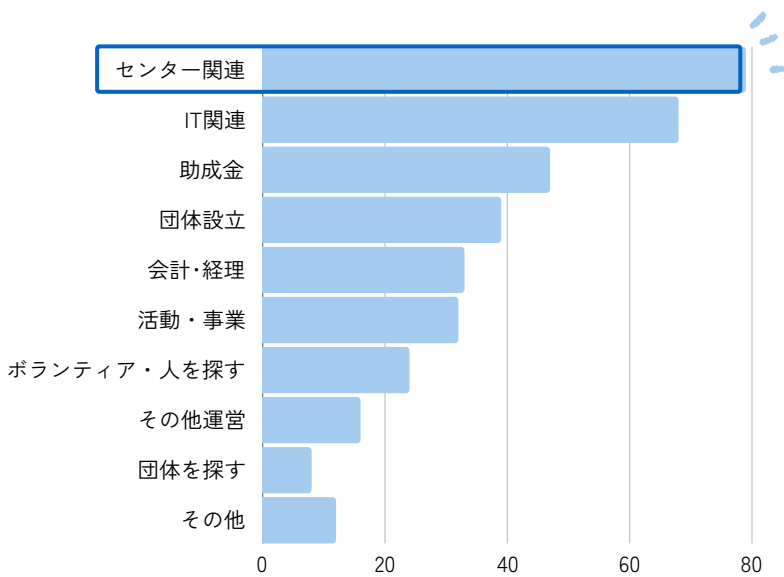
今年度は10団体で11名のワカモノを受け入れていただきました。団体からは、「組織が明るくなった」や、「高校生の視点が入り、視野が広がった」などのコメントをいただいています。

# 相談・コーディネート

## 相談件数：

- ・NPO活動専門相談員・職員による ..... **403**件（センター358件/プラザ45件）
- ・協働コーディネーターによる ..... **59**件（センター48件/プラザ11件）
- ・専門相談員(アドバイザー)による ..... **1**件

## 【相談分野内訳】



2021年度や2022年度と比較し、センター関連の相談が増加。コロナ禍の最中より、場としての施設の価値が高まっていると考えられます。

また、継続相談の場合、相談内容が特定の分類に限らないことも多く、伴走的な支援につながっているケースもあります。

たとえば.....

- ・「法人格の取得をしたいけれど、どうすれば良いの？」
- ・「ボランティアがしたいけれど、団体の選び方がわからない」
- ・「地域の市民活動団体と連携したいのだけれど.....」
- ・「余剰・不用品などを有効活用してくれる団体はない？」



こんな内容はもちろん、市民活動に関するご相談があれば支援施設まで相談ください！  
個人・組織（企業・教育機関・各種団体など）を問わず、対応させていただきます。

専門相談員による相談って？  
どんな相談ができるの？



税務・会計・法律・IT・広報などの専門家が相談に乗ります！初回相談無料です。  
※ご利用には団体登録が必要です。

# 情報の収集・発信（発行物）

## 情報誌「F-wave（エフウェーブ）」

市民活動団体の活動紹介や、団体運営に関わる知識・スキルなどを紹介

- ・発行頻度：月1回
- ・発行部数：約1,900部
- ・配布先：登録団体、市内NPO法人、サポーター、市内公共施設他



2023年度からメディアプラットフォーム「note」への転載がスタート！

note



[https://note.com/fujisawa\\_npo/](https://note.com/fujisawa_npo/)

## ボランティア情報誌「VOLUNTEERS」

支援施設に提供された、湘南藤沢エリアのボランティア募集情報を紹介

- ・発行頻度：年2回
- ・発行部数：約6,000部
- ・配布協力先：市内施設・学校・団体・NPO事務所・店舗他



ボランティア募集情報が満載！

web版



<https://fujisawa-npo.jp/volunteers>

## 情報クリップ

市内および首都圏の市民活動  
関連情報などを掲載



<https://fujisawa-npo.jp/pub/clip>

- ・発行頻度：月1回
- ・発行部数：約1,900部
- ・配布先：F-wave同様

## メールマガジン

支援施設からのお知らせや、  
イベント、助成金情報を掲載



<https://fujisawa-npo.jp/pub/mailmagazine>

- ・発行頻度：月1回+特別号
- ・発信先数：約3,000件
- ・発信対象：購読申込者



# 情報の収集・発信（持ち込み情報・HP）

## 持ち込み情報の配架

来館、FAX、メールなどでお寄せいただいた情報は、施設内の情報ラックに配架！団体のPRチラシやイベント情報、助成金情報など、常時100件近くの情報を掲示しています。

収集情報数：

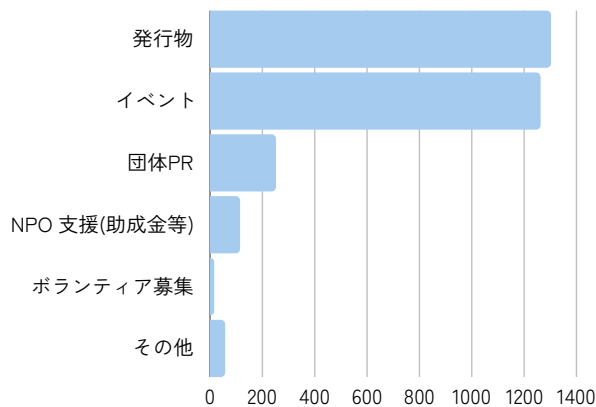
**2,892 件**

※センター・プラザ計

情報提供数：

**5,994 件**

【収集情報内訳】



センター入口に掲示しています！



## HP・SNSによる発信

2023年度は、支援施設のホームページを大幅にリニューアルしました。利用者目線でのわかりやすさを意識して、トップページから目的のページへ即時に移動できるように改善。また、施設紹介ページやボランティア募集ページの情報の整理も実施しました。



施設の利用案内や、イベント情報、助成金情報、登録団体情報、ボランティア募集情報、会議室の空き状況など、活動に役立つ情報が満載！



CHECK!!

<https://fujisawa-npo.jp/>

初めての方、個人の方、企業・各種団体等の方、学校・教育関係の方など、利用者に応じて必要な情報をすぐに見つけられるように最適化！



X (旧Twitter) も  
フォローお願いします！



# 施設の利用状況

## 支援施設全体

のべ利用者数：

26,920 人

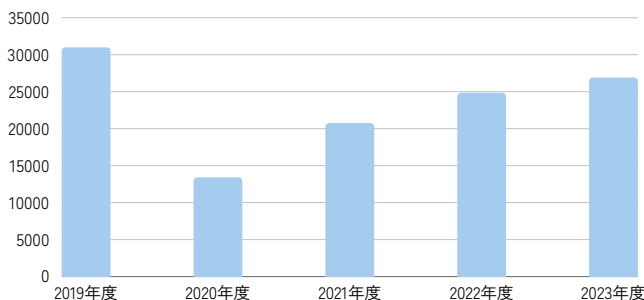
利用件数：

8,838 件

登録団体：

392 件

【延べ利用者数推移】



2019年末より始まったコロナ禍を経て、2023年5月には感染症法上の5類へと移行されました。

それに伴い、市民活動も新しい日常へと移ってきており、支援施設でも利用者数が少しずつ戻りつつあります。

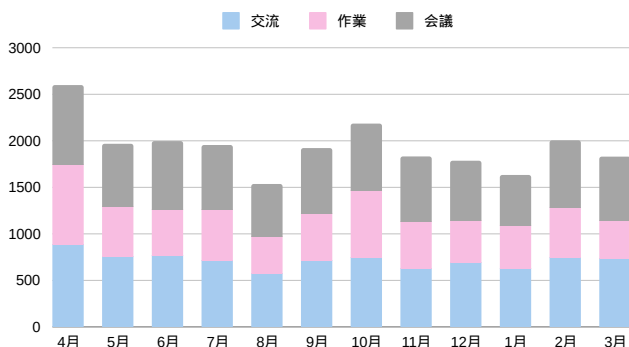
引き続き、皆様が快適にご利用いただけるようご協力をお願いいたします！

## 推進センター

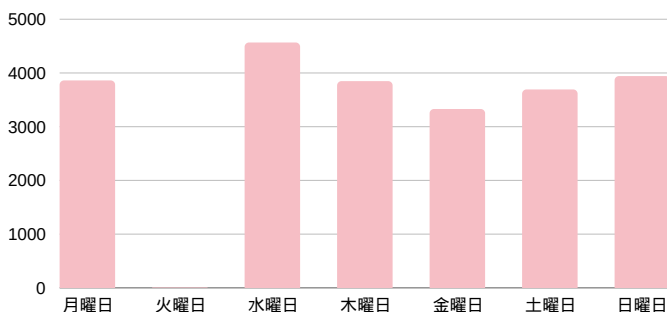
※休館日：火曜日



【月別利用人数】



【曜日別利用人数】



例年の傾向として、4月から6月ごろは総会やイベント準備等でご利用が多い傾向があります。また、8月は暑さやお盆時期に入る影響で、最もご利用が少ない時期となっています。

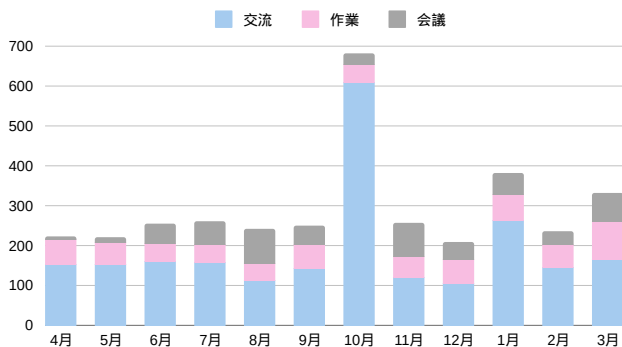
前年度に引き続き、休館日の翌日にあたる水曜日の利用がもっとも多い結果に。また、例年と比較して、土日とその他の曜日の利用者数の差が小さくなっています。

## プラザむつあい

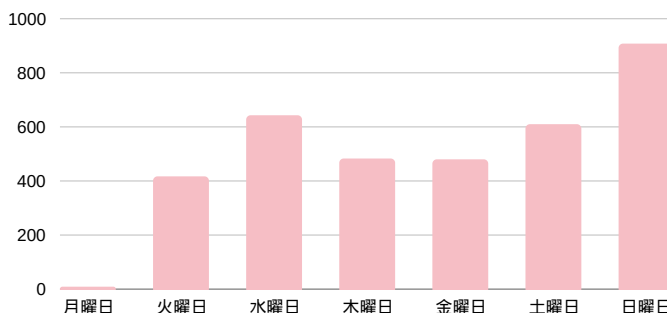
※休館日：月曜日



【月別利用人数】



【曜日別利用人数】



10月の利用人数については、10/14・15に六会公民館ふるさとまつりが開催され、プラザ室内において交流企画が実施されたため突出。これを除外すると、他の月と同程度の利用人数に。

左記イベント開催に伴い、日曜日の利用者数が増加。前年度に引き続き、学習支援団体による利用が多い傾向。

# 次年度に向けて

2023年4月に藤沢市では将来人口推計を上方修正しました。しかしながら、自治会・町内会の加入率が減少を続け、市民活動分野でも高齢の団体の割合が増えていることは、実は新たにまちに関わる人はあまり増えていないということを示唆しています。

コロナ禍はリモートワーク等で人々の時間の使いかたを変えた一方、人と接する機会についても大きな変化を生んだように思います。藤沢市においても、新たな人同士のかかわり方を見つめなおし、より関心を持ってもらえる地域のあり方を考えていく必要があります。それは市民活動団体も同様で、団体の活動に価値を見出してくれる方にどのようにすれば団体を知ってもらえるかということを探っていかなければなりません。

次年度の年次重点取り組み目標は「共感-共感を育むコミュニケーション空間を創る-」となっています。当施設としても引き続き市民活動に関する情報発信を続けるとともに、団体の発信力強化や、団体と市民が接する機会の創出に努めてまいります。

藤沢市市民活動支援施設をお使いの皆様は、長く活動されている方も、活動を始めたばかりの方も、活力に溢れている方ばかりです。そうした団体に関わる人が増えれば、藤沢市もより良いまちになっていきます。藤沢市市民活動支援施設としても、市民活動団体の皆様を支えることができるよう、支援を続けてまいります。





認定特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構

---